



1. 畝状遺構 (近世)



2. 掘立柱建物跡 (中世)



3. 溝状遺構 (中世)



4. 屋外埋設土器 (縄文時代)

●主な調査成果

西富岡・中島遺跡は渋田川の東側の低地部に立地していますが、今回調査の対象となった4区では一部が台地の裾部にかかっていました。近世では土地の区画や排水などのためと思われる溝とともに、畝状の遺構が確認されており、耕作地として利用されていたことがわかりました。中世では掘立柱建物跡や溝、土坑が確認されています。掘立柱建物跡は数棟確認されており、当地が居住地として利用されていたことがわかりました。

数は少ないですが、弥生土器も出土しています。また台地の裾部では縄文土器も出土しており、土器を立てたまま埋めた屋外埋設土器なども検出されています。

- 調査期間 2021年4月1日～2021年6月7日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市西富岡
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの渋田川東側低地上

